

外国人支援や多文化共生の社会づくりの取り組みなどの講演・研修を行っております。

令和4年度 講演・研修の実績

- 2月 松阪市社会福祉協議会 研修会
- 2月 三重県北勢地域人権啓発セミナー
- 3月 JICAオンラインセミナー「多文化共生・日本社会を考える」連続シリーズ
第7回「F1の街・鈴鹿と多文化共生社会 - 4輪で支えて多様性を豊かに -」
- 11月 三重県子育て支援課 母子保健コーディネーター養成研修会
- 11月 「入門・やさしい日本語」認定講師養成講座
- 11月 自見はなこ参議院議員・山田太郎参議院議員共催 Children Firstの子ども行政のあり方勉強会
勉強会第35回 外国人の子どもを取り巻く課題について

通訳・翻訳 対応言語 ポルトガル語・スペイン語・英語・中国語・タガログ語・ベトナム語

皆さまからの温かいご支援に心より感謝申し上げます。



MITSUI & CO.



ダイヤル・サービス株式会社



税理士法人 Mパートナーズ



wakachiai sharing meals for friends

2022年4月～2023年3月末

支援者数 個人 54名 企業 5団体

金額 913,000円



まんぷく大作戦!!

2022年12月に鈴鹿市在住のひとり親家庭の親子15組をクリスマスパーティーにご招待し、Trattoria YAMAKAWAにてまんぷく大作戦!!を開催しました。孤立、孤独の中で育つ子どもが増えていると言われている昨今、寂しい思いをしている子どもたちが多くいます。その子どもたちに心を寄せている人たちがいるというメッセージを送り、「社会の宝」である子どもたちを、地域で見守り、育てたいという思いから開催しています。

私たちの街で育つ子どもたちを、一緒に見守り応援したい!と思ってくださるサポーターを募集しています。「まんぷく大作戦!!」に加わってくれる方、どうぞ応援よろしくお願いします。



〒510-0874 三重県四日市市河原田町2448-1

☎ 080-3667-5129 (坂本)

✉ aiden@hotmail.co.jp

🌐 https://aidensha.org



ホームページ

郵便局からのお振込・お振替

【ゆうちょ銀行】記号:12250 番号:08914971

【口座名義】 特定非営利活動法人愛伝舎

銀行口座からのお振込

【ゆうちょ銀行】二二八店 普通 0891497

【口座名義】 特定非営利活動法人愛伝舎



令和4年度(2022年)活動報告書

NPO法人愛伝舎



ご挨拶

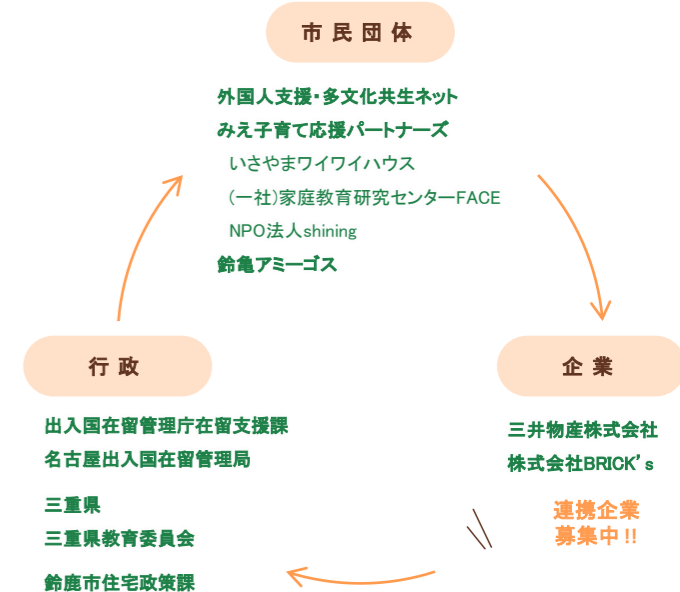
令和4年度(2022年)の活動では、多くのネットワークが広がり、いろいろな人や団体との連携が深まりました。ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。

活動から浮かび上がる課題を行政機関につなげ、施策に反映されるように取り組んだ1年でした。少子化が社会に大きく影響を及ぼし、在留外国人の人口は最高を更新しました。

私たち社会が、寛容で豊かな活力ある「多文化共生社会」になるように、これからも取り組んでいきます。令和5年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

ネットワーク図

愛伝舎ではネットワーク構築に取り組んでいます。それぞれの団体の専門性や強みを活かして、協力体制による支援の確立を目指しています。



令和4年度の主な活動事業

● 三重県児童相談所

外国人家庭への対応強化事業

● 2021年度休眠預金資金活用・草の根活動支援事業

私たち社会を地域で支え合うネットワーク強化事業

● 三井物産株式会社ブラジル人学校奨学金プログラム

未来につながるキャリアを考えよう! ~高校卒業からの生き方について~
高校卒業後のキャリア形成について、考えましょう! ~保護者向けセミナー~

● 令和4年度 三重県教育委員会

外国人生徒キャリアサポート事業「進路セミナー」

● 三重県ダイバーシティ課

新型コロナウイルス感染拡大防止啓発事業

● 出入国在留管理庁在留支援課

在留外国人に対する必要な情報配信の強化及び生活上の困難を抱えた外国人等へのアウトリーチ支援事業

（一財）中部圏地域創造ファンドで募集された休眠預金活用事業「チームによる支援活動の広域展開」に採択され、「みえ子育て応援パートナーズ」を結成し、複数の市民団体が連携して地域の子育て支援の活動を進めています。専門性を持つ市民団体の連携により地域の子育て環境のネットワークが構築され、支援の連携が機能するようになっています。

愛伝舎は幹事として各団体との連携を推進しています。個々の活動の内容、活動から浮かび上がる課題を、社会の課題として議論し、施策につながるよう発信、報告、政策提言を進めています。子育てや、外国人支援は様々な課題が重なり複雑化しています。1つの市民団体のアプローチだけでは支えきれず、いくつかの団体の得意とする活動によって支援の連携が良い循環を生むと考えています。「みえ子育て応援パートナーズ」の連携、協働による好循環を推進していく役割を担っていきたくと考えています。

いさやまワイワイハウス



いさやまワイワイハウスとの協働は、ママと子どもたちの居場所づくり「赤ちゃんカフェ」です。乳幼児と一緒に子育て中のママが気兼ねなくおしゃべりを楽しみながらご飯を食べ、子どもたちは楽しく思い切り遊びます。毎回、お野菜たっぷりの手作りのご飯が提供され、お腹がいっぱいに満たされるだけでなく、ママたちの「こころと身体」の充電の場にもなっています。じいじ&ばあば世代も地域の子育てに参加し癒され、子どもたちからパワーも貰っています。「社会の宝」の「子どもたち」を、地域で育てる環境をつくっています。

■ 赤ちゃんカフェの開催数・参加人数
33回 / 日本人親子延べ 279組
外国人親子延べ 54組

(一社)家庭教育研究センターFACE



外国人の子どもの発達や学習の課題に対し、公認心理士による診断とその後の療育支援をしてもらっています。外国人の子どもの日本語習得は、生活言語は身につくという難しさがあります。言語獲得、愛着、発達の課題等様々な要因が考えられ、見極めの難しさがあります。専門家との連携によって、支援の幅を広げています。

■ 相談会の開催数・人数
(2か月に1回の開催)
8回 / 相談者数延べ 47名

NPO法人shining



子ども食堂や不登校支援などを行っているshiningとの連携により、課題や困難を抱えている家庭への支援につなげ、地域での子育て支援の連携を進めています。年末に開催している「まんぷく大作戦」では、ひとり親家庭への支援を連携して行い、支援対象の家庭へのアウトリーチを進めています。

■ 学校に行きづらい子ども・若者たちが安心して過ごせる居場所「ラピュタすずか」開催回数・利用者数
利用者数延べ
225回 / 1472名

数字は2022年5月～2023年1月末までのものです

2023年度からはのびのび子サークル(矢田保育園)が新規団体として加入します



令和4年度、出入国在留管理庁在留支援課の事業として、「在留外国人に対する必要な情報発信の強化及び生活上の困難を抱えた外国人等へのアウトリーチ支援事業」を受託しました。国からの多言語情報提供が増えていますが、情報が外国人へ届きにくいという課題があります。愛伝舎ではSNSでの情報配信に加え、多言語のチラシを外国人が多く集まるイベント、スーパーマーケット、スポーツジムや外国人を多く雇用する事業所等に配布して回り、情報を直接届けるルートの拡大に努めました。また、外国人コミュニティとの連携により、支援が届きにくい人に支援が直接届くように、また適切な行政サービスにつながるよう取り組みました。長期間に及んだコロナ禍で、雇用が不安定になり、経済的に困窮している家庭が増えています。食糧支援につながるだけでなく、子どもたちの精神的な不調の相談も寄せられています。行政や市民活動の支援にルートにつなげ、少しでも不安を取り除けるよう取り組みました。



三重県教育委員会「外国人生徒キャリアサポート事業」は令和元年にスタートし、4年目となりました。三重県内の高校生の数は年々減少していますが、外国籍の生徒の割合は年々増加しています。三重県内の「日本語指導が必要な生徒」の高校進学率は、近年約95-97%で推移しており、多くの生徒が高校進学しています。しかし、高校進学後も日本語指導が必要な生徒もいます。また生徒や保護者の進学についての情報が十分でないため、将来の進路を具体的に考えることが難しい家庭も少なくありません。特に就職については、保護者の多くが非正規雇用で就労しているため、年収、社会保障、生涯賃金、仕事の熟練などの知識、イメージが乏しく、就職先として派遣雇用を選ぶ生徒、保護者が多くいます。そのため、高校進学後に、より安定し、定住する基盤をつくれるように、「キャリア支援」に取り組んでいます。令和4年度は、三重県立飯野高等学校で大学進学したり、正社員として働いている4人の卒業生に講師として自らの体験を語り、勉強や進学についてのアドバイスをしてもらいました。近年モデルの事例が増えており、目指す先輩に出会うことで、より広い選択肢を提示できると考えています。外国人の割合が多い三重県で、次の社会を担う多様な人材の可能性を広げる取り組みには、特に力を入れていきたいと考えています。



三重県立飯野高等学校の先輩の話を聞く在校生



三重県立ゆめ学園高等学校での様子



海外日系人協会の留学生と飯野高校の生徒との意見交換会

三井物産株式会社社会貢献事業「ブラジル人学校奨学金プログラム」として、鈴鹿市内にあるブラジル人学校EAS鈴鹿校で、「キャリアセミナー」を開催しました。ブラジル人学校の生徒は高校までブラジル人学校に通学していますが、高校卒業後も日本に定住する生徒が多く、日本での進学や働き方について、説明をしました。また保護者向けにもオンラインで説明会も開催し、生徒だけでなく保護者にも日本での進学と就職についての理解を深めてもらう機会を提供しています。令和4年度からは、トヨタ名古屋自動車大学校にもご協力いただき、自動車整備士の仕事の紹介も行いました。日本語を習得して正規雇用で働き、安定して定住する基盤を作りたいと思います。



三重県児童相談所の事業で「外国人家庭への対応強化」の業務を行っています。愛伝舎から鈴鹿・北勢児童相談所に職員を配置し、外国につながる家庭の支援を行っています。愛伝舎は、地域の子育てのネットワークを構築することで、社会として子育てを支えるという基盤づくりの実現を願って活動しています。家族帯同ができる在留資格が増えており、外国籍の若い世代の家族が増え、それにより日本で生まれる外国籍の子どもも増えています。外国での生活の不安や、不安定な雇用環境もあり、外国人の子育て世代への支援は、更に充実させていきたいと思っています。

2019年に発足した“外国人支援・多文化共生ネット”が2020年度トヨタ財団特定課題「外国人材の受け入れと日本社会」を受託し、「妊娠から乳幼児育児施策および外国人保護者の受け入れ状況の調査研究と啓蒙活動による安心して出産・子育てできる社会づくり」に関する調査研究を行い、報告書を作成しました。

また、子ども家庭庁発足に向けて、国や各自治体での子ども施策においての外国人の子どもへの行政サービスの充実に向けて報告を行いました。この研究の成果が今後の子育て環境の充実に繋がるよう活かしていきたいと考えています。

